

市民文教常任委員会会議記録（概要）

平成30年8月29日（水）

開 会 （午後2時45分）

【議 事】

○特定事件「学校教育について」

- ・市内小中学校の暑さ対策について

【概要説明】 な し

【質 疑】

浅野委員

暑さが原因で保健室に行った児童生徒数は把握しているか。

池田保健給食

利用した後に医療機関で熱中症や暑さが原因であると診断を受けた児

担当参事

童生徒数ということですが、4月8日から7月20日の1学期間において
は、小学生が6人、中学生が3人でございます。

浅野委員

その中には救急搬送された人数は含まれているか。

池田保健給食

熱中症により救急搬送されたと報告を受けておりますのは、1学期にお

担当参事

いて、中学生が4人でございます。

浅野委員

先ほどの医療機関で熱中症等が原因と診断を受けた児童生徒以外に、救

急搬送された生徒がいるということか。

池田保健給食 担当参事 先ほどの小学生6人、中学生3人のほかに、救急搬送された中学生が4人ということでございます。

浅野委員 学校に救急車を呼ぶということはあまりしたくはないだろうが、よい判断だったと思う。気持ち悪いとか、顔色が悪いとか、救急車を呼ぶ判断の基準は何か。

池田保健給食 担当参事 児童生徒の症状などがまちまちですので、大事に至ることがないように迷ったらすぐに救急車を呼ぶということで、養護教諭をはじめ、教員が健康観察をしたうえで判断しています。

浅野委員 授業中など生徒の訴えで気づいたのか、また、体育の授業だったのか、そのあたりはいかがか。

池田保健給食 担当参事 1学期中の4件につきましては、体育の授業の後、運動部の部活動、体育館で行われた講演会の3種類でございます。

矢作委員 埼玉西部消防組合で救急搬送した小中学生の人数を聞いたところ、4人よりも多かった。この違いは何か。7月20日以降に搬送されているのか。

池田保健給食 担当参事	消防署側の把握については、熱中症の疑いとして医療機関に搬送した件数をカウントしていると思われませんが、私どもは、医療機関の診断があった場合に判断していますので、それが違っている可能性があるということと、判定する期間にずれがあった可能性があると思われます。1学期終了後に搬送されたケースもございます。
矢作委員	それは何件あったか。
池田保健給食 担当参事	中学校で3件でございます。
矢作委員	それは部活動中ということか。
池田保健給食 担当参事	全て部活動中でございます。
矢作委員	時間帯は把握しているか。
池田保健給食 担当参事	1件は運動部活動中で午後0時ごろ、もう1件も部活動中で午前10時30分ごろ、それから運動部の試合中で午後2時ごろに1件ありました。

矢作委員

今年は大変な猛暑で死亡事故もあったが、マスコミの報道を受けて教育委員会の中で検討したことや、具体的にとった措置があれば伺いたい。

千葉教育総務
担当参事

教育委員会では各課でさまざまな対策を実施しておりますので、それぞれ担当した課から申し上げます。

初めに教育総務課ですが、暑さ対策として業務用の扇風機を希望する全ての学校に2台ずつ配置したところでございます。

森田教育施設
課長

教育施設課では、職員室、校長室、保健室、コンピュータ室、音楽室、図書室に既にエアコンを設置していることから、その部分を一時的に避難場所として使うよう、各学校に連絡いたしました。

池田保健給食
担当参事

報道を受けてということではなく、昨年も暑かったことから保健給食課として対応していることは、熱中症へのかかりやすさを示す指数であるWBGT値をはかるための、温度、湿度、輻射熱など総合的な値をはかる計測器を、本年度当初に全校に配付いたしました。体育館や校庭はもとより、教室等でもはかったうえで対応するように、という指導を校長会等を通じてアナウンスいたしました。そのほかには、熱中症予防に関する情報についてスポーツ振興センター等からの案内を逐一各学校に配付、案内しております。また、埼玉県からWBGT予測値が発表されますので、発表後、

直ちに案内をしております。

戸村学校教育
部次長

学校教育課といたしまして、この猛暑を受けて安全上今まではこれはよ
くない、と指導していたものについても、柔軟に対応するように通知を出
しております。例えば、登下校中に水分補給をすることについては、これ
まで安全上できるだけしないようにと学校が指導しておりましたが、安全
な場所で給水してもよいこととする等の柔軟な対応をするように各学校
に通知を出しております。ほかの対策例としましては、休み時間にエアコ
ンのきいた特別教室を開放する、水筒に氷を入れて持ってくることを許可
する、授業中に給水タイムを設ける、水筒の中身をお茶と限定していたも
のを薄めたスポーツドリンク等の持参も可とする、というような柔軟な対
応策について、各学校あるいは児童生徒の実態に応じて対応するよう、通
知したところでございます。

内藤教育長

教育委員会としては、昨年度も救急搬送が発生しておりましたし、この
異常な暑さのなか、校長会等でしっかり対策するように指示するととも
に、関連する課も通知だけにとどまらず、例えば部活動に対する対応であ
れば中体連などの担当者の会議、あるいは養護教諭が集まる集会など、そ
れぞれの場面において熱中症対策をしっかり指導してきました。通知も相
当数出しております。そうした取り組みと同時に、教育委員会として今す
ぐできることはないかということで、いろいろ工夫して対応しておりま

す。特に、暑さもそうですが、湿度によって発症する例が多いということから、先ほど担当参事が申しあげましたようにWBGTの測定器を全校に配付し、常に発症予防に努めてまいりました。発症した子供たちの共通していることは、帽子をかぶっていないとか、朝食をとっていないことが多いです。食事によって塩分や水分をとっているのですが、食事をしない、睡眠不足である、被服の風抜けが悪く暑さがこもるような、そういった傾向が多かったということから、生活指導も行いながら取り組んできました。しかし、残念ながら救急搬送も部活動系で若干あったということや、9月以降もさらに暑さも予想されるということから、今も引き締めて取り組んでいるところでございます。

岩間学校教育
部長

先ほど、学校教育部次長が答弁した事例ですが、市内で一斉に禁止していたわけではありません。既によしとしている学校もたくさんあります。ただ、そうではない学校もいくつかあることから、積極的に少しでも暑さ対策として柔軟に対応するよう、たくさんの例をあげて通知したものでございます。

矢作委員

行事の中で、水泳記録会が中止になったということがあったが、ほかにも事例はあるか。

戸村学校教育

水泳記録会については、8月1日に予定していたブロックが多いと思わ

部次長

れますが、猛暑であったこと、特に水泳記録会においては泳ぐ時間は2分とか3分ですが、プールサイドでの見学時間が大変長く、会場までの往復に長い距離を徒歩で移動しなければならないことも鑑み、小学校体育連盟、校長会等と相談をして、本年度は水泳記録会を中止いたしました。そのほか、各学校においては水泳指導をしているところがございますが、こちらについても行き帰りも暑いですし、プールサイドが大変熱くなり、子供たちがはだしでプールサイドにいること自体が危険になるような温度だったこと、また、水温も大変高くなり、学校によっては水温36度、気温36度という状況でした。そういった中での指導となると、たとえ水中にいたとしても熱中症の危険がありますので、水泳指導についても中止している学校もございます。

浅野委員

猛暑の中でできる対応を伺ったが、私たちが一番知りたいのは、できるだけ早くエアコンを入れてほしいということである。テレビをつければどの番組でもエアコンをつけましょうと言っているし、昨日のニュースでは、エアコンが壊れた病院で高齢者が亡くなったと聞いた。扇風機による対処ではなく、市もエアコンを入れると決めているが、つけるということをお房長官や文科省も言っているということは、調査結果を待つのではなく教育委員会で早くつけるという検討はしていないのか。

内藤教育長

ご指摘のとおり現在調査をしておりますし、暑さの中で私も市内の小中

学校に行きました。南側の3階、4階は相当暑くなっています。また、風通しのよい教室は体感的には驚くほど涼しく感じます。北側と南側で平行に校舎がある学校は、間に緑地帯があるので南側は相当暑いけれど北側は風抜けがよいと、学校によっても暑さが相当違うことを体感してきました。しかし、委員がおっしゃるとおり、現在進めているものをできるだけ速やかにということで、中間報告等をできるだけ速やかに提出してほしいと当該業者に伝えてありますし、我々もできるだけ速やかな対応ができるように、準備や研究を進めております。

浅野委員

前回の委員会では、調査結果は3月末になるということだったが、できるだけ早く調査結果を出すよう依頼しているということか。

内藤教育長

まずは中間報告を出していただけないかということで担当からお願いしております。また、早急に取り組んでいる町にも、どんな手法でどんな内容で行っているのか、実際に現地を訪れて考え方や手法を調査して把握してきたこともございます。

また、国は補助金をつけるということでありがたいのですが、今までの補助金のつけ方だと補助金がほしいということで手を挙げてから期間がかかります。このため、議会のほうでも補助金の財源の議論や早期設置を優先すべきといった議論も必要かと考えております。補助金はもらったほうがよいのではないか、また、早くやったほうがよいのではないかと議会

での判断が多様だと、いろいろな意味で対応の難しさもございます。補助金もどんな手法でも速やかに出してほしいということは我々も願っております。まして情報収集に努めておりますが、官房長官が述べられたような内容がいまだ具体的には示されていないというところでは、いらだちをもっているところでございます。

秋田委員

1学期と夏休み中を合わせると、中学校で7件救急搬送されているが、これは何校か。

池田保健給食

4校でございます。

担当参事

秋田委員

7人で4校ということか。

池田保健給食

複数人が同一の学校というケースがございます。

担当参事

秋田委員

ここのところ所沢市内で教員の不祥事が多い。だから、部活動と体育の授業というように、同じ教員なのかとふと思ったが、そういうことはないか。

池田保健給食

そういったことはございません。

担当参事

松崎委員

今年の保健室で対応した人数、救急搬送の人数は、過去数年と比較して変化はあるか。

池田保健給食

平成29年が13件、平成28年が2件、平成27年が3件でございます。

担当参事

松崎委員

それは何の件数か。

池田保健給食

熱中症により救急搬送された件数です。

担当参事

松崎委員

平成29年については、13件のうち一つの学校でとびぬけて多かったのではと思うが、その原因と対策については対応したのか。

池田保健給食

ご指摘のとおり、平成29年度において一つの学校で同日に複数の救急搬送がございました。体育祭の練習中及び練習後に体調を崩したといったことがございます。こちらについては、最初の生徒が体調を崩した際に救急隊を要請し、その後も保健室利用があった熱中症と思われる生徒に対し

担当参事

ても、その救急隊員の判断で救急車を要請したということで、この日に救急搬送が多くなりました。この件につきましては、学校等にヒアリングを行い、再発防止については校長や養護教諭等の指導のもと、給水を十分するとか休憩をとらせる等の対応を、全教職員が行ったり、校内研修会を開催したりしていることを確認しました。

松崎委員

13人中何人かが同じ学校で全て同じ日に搬送があったということでよいか。

池田保健給食

8人が同日に同じ学校から搬送されました。

担当参事

吉村委員

2点、伺いたい。まず先ほどご答弁いただいたように、補助金をフルに活用しようとする時間がかかってしまう懸念がある。しかし現状ではできるだけ早く設置してほしいという声が強い。とても難しいところで、どちらを優先すべきかが重要な課題である。そのあたりの議論は、教育委員会としてはまだしていないのか。

またいろいろな金額が過去に出てきているが、実際にはいくらかかるのか。PFIやリースや直で設置する方法もあるが、こういった方法であればこのぐらいかかるという、残りの普通教室に全て設置する場合の総額について、正確でなくても大体でいいのだが、金額の見積もりを持っている

のか。

森田教育施設
課長

補助金については先ほど教育長から申し上げたとおり、非常に複雑な事務手続きがあります。現在、補助金は工事で設置しなければつかない状況で、国もいろいろと検討していることは聞いておりますが、実際のところ支給要件の緩和情報は来ておりません。

また教育委員会の議論についてですが、現在、委託の報告書をまとめている最中です。11月頃に中間報告をと考えておりますが、今年の猛暑については教育委員会としても重く受けとめております。そのためなるべく早くということで、補助金を含めた財政的な部分についても聞き取りを行い、中間報告の中でそういったことを出していきたいと考えています。

また金額については概算になってしまいますが、30億円、40億円と考えると考えているところです。

浅野委員

30億円、40億円というのは、全校分でということか。

美甘教育総務
部長

補足させていただきます。国はこの臨時国会で、補助金を補正予算で計上し、補助金のあり方も含めて見直していく考えを示しています。そういった動向を見ていかないと、現在、補助率が3分の1ということもありますし、予算的にも国が十分に対応をしてこなかったこともあり、手を挙げてもそのとおり支給されていない実態もございます。そのあたりの見きわ

めをしっかりとしていかなないと、補助金がどのくらいもらえるのかがわからない状況です。

また補助金をいただいて実施するか、リースで実施するかということでは、本市には防音校舎があり、これまでも狭山ヶ丘中学校、北中小学校と工事を実施していますが、躯体の工事も含めて1校につき2年かかっています。こうした他市とは異なる状況が本市にはあります。リースの場合は競争原理が働きますので入札で金額が下がることが予想され、また補助金をいただければ歳入になりますので、市の持ち出しが少なくなります。そういうことを相対的に、総合的に考え、最終的にはマチごとエコタウンの考え方も入れていくわけですが、現在行っている調査委託の中である程度明らかにして整理した上で、またこれまで市として対応してきたエアコン整備事業の経緯もございまして、そういったこともしっかりと市民の皆さんにご理解いただけるような対応をしていかなければいけないと考えています。まずは子どもたちの健康を守るために、暑さ対策を1日も早く進める。そのために、教育委員会としては精いっぱい努力しています。

そして方向性が出ましたら、速やかに議会や市民の方々にお示しして行動する、そういった姿勢で取り組んでいるところでございます。

吉村委員

やり方については、順番につけるのか、1年か2年の間に全部つけるのかということもある。ついている学校とついていない学校で期間が空いてしまうと、子どもたちにとっても不公平感がある。やるのであれば、でき

るだけ早いうちに全部やってしまうべきだと思うがいかがか。

美甘教育総務
部長

暑さ対策ということを考えますと、ある学校と別の学校でつける時期が違ってしまっは、同じように学んでいる子どもたちがいるわけですから、ある程度時期を揃え、その上で、所沢中学校や向陽中学校といった大規模校がある一方で、一学年3クラスの小規模校もあることから個別の学校への対応のあり方についても、今回の調査を通じてきちんと分析し、最終的にはつける時期を同じにすることが望ましいと考えています。現在、それに向けて努力しているということでご理解いただければと思います。

内藤教育長

補足させていただきます。補助金が3分の1と聞くと、実質の3分の1の金額が出ると思ってしまうかもしれません。しかしこれまでも、国の補助金に補助対象額という細かい基準があり、実勢価格の3分の1を出すわけではありません。基準額相当部分の3分の1を出すという場合もあります。また事前審査で要件が合わないと補助対象から外すなど、細かく厳しい審査が行われます。そういった意味では、国が早くやろうと言ってくれていることは大変嬉しいことで、補助申請システムが自治体にとってよりよい方向になるように情報収集に努めているところです。また、できるだけいいものを安く買いたいとは考えておりますが、例えば冷蔵庫などの家電にしても、同じような大きさでもかなり差があるように、今回対象となる機器についても、こういった手法でどのようにやるのかによって、もち

がよい、金額が高いなどいろいろあるかと思えます。そういった判断も含め、また当初から申し上げている環境等の着眼点にも配慮しながら進め、教育総務部長が申し上げたとおり、事務方としては方向性が決まればできるだけ速やかに、多くの方のご同意が得られるような内容を準備していかなければいけないと考えています。

秋田委員

金額について、今から8年ぐらい前にリース方式であれば毎年2億円ぐらいだと当時の山崎教育総務部長が答弁されていたが、そういったことも視野に入れて考えているのか。

美甘教育総務
部長

当時と比較しますと機器の性能もよくなっており、それに伴って価格の変動があるかと思えますし、設置費用についても、当時のリース価格とは比較できるものではありません。また機器がよくなったことにより、リース期間が長くなれば、単年度の金額は下がるが全体として見れば上がるということもあるかもしれません。

なお各学校への空調整備については、家庭にエアコンをつけるのとは異なり、リースでただ設置すればいいというわけではなく、使用に耐えうる電気量を確保するための電気設備工事などが付随して必要となります。そのため、当時の金額では成り立たないと考えております。

内藤教育長

キュービクルという電気設備がもたない場合、相当の金額がかかるとい

う話もありますし、当時の答弁がそういった機器のことを想定したものであるか何とも言えません。また2億円ということだけが切り取られてしまい、それで全て終わると誤解されていた方もいらっしゃったようですが、そうではなく、10年のリースであれば合計20億円ですし、15年のリースであれば30億円となります。

電源を安全・安心に運用していくためには、キュービクルをしっかりとものにしなければいけないのですが、現状でこの設備の使用に耐えられない学校もあります。そういったことも踏まえ、どういった方法が確実に検討していく必要があります。

美甘教育総務
部長

ほとんどの学校が、電気の容量に耐えられない状況です。なお現在行っている調査業務では、マチごとエコタウンの理念も備え、CO₂を排出しない機器や、環境に負荷をかけないためにどのような工事を行うのが効率的かなども調査しながら適切な方法を探るという目的もありますので、そういったこともご理解いただきたいと思います。

矢作委員

今年の猛暑で学校のエアコンについても全国的に注目をされている中、私たちが市民の方々から、なぜ早くつけられないのかということをしごく聞かれる。今日お聞きした中では、中間報告が11月、最終報告は来年3月29日までとなっていたかと思うが、新年度予算にどのように盛り込まれてくるかという点でも、難しいのではと感じてしまう。教育長もできる

だけ早期に実現したいと言ってくさっているが、教育委員会としての、
予算計上も含めたスケジュールについて伺いたい。

美甘教育総務
部長

仕様書上は3月末までとなっていますが、先ほど教育施設課長からも申
し上げたとおり、中間報告をできるだけ早く出していただき、その中身に
よって、とにかく年度途中でも新年度でも、教育委員会としては動き、対
応措置を図りたいと考えています。

所沢市には防音校舎があるという特殊な事情があり、また特別教室には
エアコンが設置されていますが、近隣自治体に比べて極めて設置率が低い
状況です。事務方としても業務量の多い、大きな工事になりますが、それ
をいかに早く進めるかというのが課題だと考えています。とにかく暑さ対
策として一日も早く、鋭意努力して誠心誠意、努めてまいりたいという思
いです。

浅野委員

11月の中間報告は、そこから対応が始まるということでは、最終報告
と受けとめてもいいのか。

美甘教育総務
部長

いろいろなことを盛り込んで調査報告書をまとめていきたいと考えて
います。単純に暑さ対策の対応というだけでなく、マチごとエコタウンの
観点からどういった工夫ができるかということについて、市民や議員の
方々にもわかりやすいような報告書の作成に努めてまいりたいと思いま

す。そのため、最終的な報告は先になるかもしれませんが、中間的な報告を途中で出し、次のステップを切るための材料にしていきたいということで申し上げているものです。

浅野委員

私も普段言われることのない人から言われたり、電話が来たりする。先ほど、補助金がなくてもつけていきたいといったことをおっしゃっていたかと思うが、市民から見れば、リースで1年間に2億円かかろうが3億円かかろうが、借金してでも早くつけてほしいという気持ちが強いと思う。そのためぜひ早く進めていただきたいが、例えば全校に同時に設置することになると、機器もなくなってしまうのではないか。国の補助金を待っていたら全国的に機器がなくなってしまうたり、人がなくなってしまうことは考えられないのか。

内藤教育長

現在、オリンピックの関係も含め、公共工事が非常に多く、いろいろな単価が上がっていると聞いています。また今年の暑さは従前とは違いますし、市民の方からもいろいろな声もいただいています。議会が請願を採択してきた経緯もありますので、3月まで待つてからやろうということは全く考えておりません。また教育委員からも、さまざまな意見がある中で、できるだけ速やかに取り組むといった内容の要望をいただいていることから、教育総務部長が申し上げたように、予定されている中間報告についても早く出すようにしたいと思います。また報告書の内容が全て実現でき

るかという問題もありますので、予算をつけていただいた調査については重要な参考にはしますが、現状のニーズや状況を見ながら政策判断をしていくことになると思います。なお速やかに進めると宣言した自治体については、具体的にどのような計画でどのように方法で進めるのかを聞いていますし、この1年間で、かなり早いスピードで進めている自治体があると聞けば、方法や議会の合意の状況などの調査も視野に入れながら進めています。いずれにしましても、市民や議会の皆さんが合意していただけるような内容で進めていければと考えています。

吉村委員

11月に中間報告が出て、12月定例会で補正予算を組む可能性もあるのか。

美甘教育総務
部長

どのような中間報告が出てくるかはわかりませんが、さまざまな角度から検討しなければならないこともありますので、そういったことも含め、前向きに考えていきたいと思っています。

森田教育施設
課長

先ほど浅野委員からいただいた、人や機器についてのご質疑について、まず人についてですが、各分野の職人は減っており、人手不足という現状があります。また人件費についても、ここ5年ぐらいの間に上がってきています。次に空調機器について、国の補助金の状況などもありますが、全国の自治体が一斉に導入を行うことはないと思います。機器のメーカー

も何社かありますので、対応できると考えております。

矢作委員

先ほど救急搬送された児童生徒の話があったが、その後の経過として、学校を休まなければいけない状況であったのか、軽症ですぐに快復したのかについて伺いたい。

池田保健給食
担当参事

全件について、その日のうちに自宅に戻り、快復して翌日には登校しております。

石原委員

登下校中のかばんの中身について、登校時から暑かったり、暑さで日中消耗した後で下校したりといった状況の中、教材をどの程度、机に置いて帰ってもいいことになっているのか。

戸村学校教育
部次長

6月定例会でもご質問いただきましたが、通学かばんについては、各学校でこれまでも、置いていってもよい教材を一覧にして通知するなどして対応を図ってまいりました。また暑さ対策の中で、ランドセルを背負うことで背中に汗をかくこともありますので、先ほどの通知の中で、猛暑であればランドセルでなくても認める対応も行っていますし、教材についても、例えばある学校では生徒の判断に任せて対応している状況もございます。そういったように、できる限り児童生徒の負担を減らす方向で暑さ対策を実施しているところです。

内藤教育長

学校にはランドセルで行かなければいけないという決まりはありませんが、長い慣行としてランドセルを使っています。最近は軽いものが多いと聞いていますが、中には総革で重いものもあります。そんな中、今回各学校に対して、必ずしもランドセルでなくても、軽いものでいいという柔軟な対応をしてほしいと指示を出しました。また教材を学校に置くことができるという対応も既に行われています。現在、9月はもう少し軽装で登校できないかということ具体的に学校にお願いしている状況であり、今後ランドセル以外のかばんで登校する姿が見られるようになれば、ランドセル文化も少し相対化していくのではと考えているところです。

石原委員

今夏の暑さ対策の取り組みを進めていただいていることはわかったが、実施している学校としていない学校といった温度差があると、エアコンが早くつくかどうかと同じぐらい不公平になってしまう。全ての学校に徹底していただきたいのと、先生の裁量で厳しい先生と優しい先生の差が出てくると、これもまた不公平になってしまう。

中学生にもなれば身体の発達にもかなり差があり、感じる負担感も個々で異なると思うので、配慮をお願いしたいと思うのだがいかがか。

岩間学校教育
部長

今おっしゃったようなことが考えられますので、8月21日に出した通知では、先ほどから出ているように、これまで教育委員会が踏み込んでこ

なかったかなり細かい部分にまで柔軟な対応をお願いしています。ご心配いただいたことについても少しずつ是正をしていく方向で取り組んでいくところです。

浅野委員

早くつけた自治体を調査しているとのことであるが、これまでの想定では、夏休みに工事をするを考えていたと思う。しかし今からでは早く動いたとしても工事が来年の夏休みになってしまい、あまり使えないのではないかという懸念がある。調査した自治体では、夏休み以外でも工事を可能としているところはあったか。

森田教育施設
課長

どこの市町村というお答えは難しいのですが、リースやPFI、工事など設置の方法はいろいろで、埼玉県内でも設置数も違いますが、短い期間で設置しているところはあります。工事の時期については、夏休み、春休み、ゴールデンウィークなどの連休を使うといった例があります。また方向性が決まっているわけではありませんが、もし急ぎでつけることになれば、学校にご協力いただき、平日でも設置する階から移動していただきながら進めることも検討していきたいと思います。

内藤教育長

所沢市は学校数が多いのですが、早く取りつけた自治体の中には、学校数が少ないところもあります。また期間については、従前これぐらいかかると申し上げてきた期間でやるしかないという自治体も多い状況です。

本市においては、教室数が多い学校と少ない学校を同じように扱うかどうかなど、細かい手法の部分について、検討しなければいけないことが山ほどあります。電源の整備も必要であり、また設計についても、20以上の教室に設置するとなると、室外機の置き場所なども考える必要があり、まずは基本設計を行い、その後、詳細設計をしていくということでは、一校について相当な労力がかかります。期間について、ある自治体では、やると宣言しましたが、2年以内という期間を設定したという報道を目にしたこともあります。本市でも、スタートしてこのぐらいの期間でできまうすということは、今は申し上げられません。また手法や、環境にいいものを安くとなるとハードルが高くなりますので、それを全て満たすということができるとかという議論も必要となります。

現在、調査委託に加え、市独自でも調査を行っていますが、今夏の異常な暑さ対策については、国も最重要課題としており、教育委員会でも同様に考えて進めているところです。

秋田委員

実際に、学校で家庭用のエアコンを導入しているところはあるのか。

森田教育施設
課長

本市ではありません。

秋田委員

全国の自治体でそういったところはあるのか。例えば家庭用のエアコン

2機で教室をカバーしたり、室外機を高いところに設置したり、ひさしをつけるなど、いろいろと工夫されている例があれば伺いたい。

森田教育施設
課長

設置に当たってはまず負荷計算を行い、機器を選定することになります。また学校の状況によって室外機の置き場所も検討することとなりますので、一概に同じ形でできるものではないと思います。また教室の大きさを考えると、家庭用ではなく業務用になってくるのが一般的であり、また家庭用のものを使うと設置数がふえ、それに伴って室外機の数もふえてきます。置き場、電源の問題もあり、家庭用のエアコンを設置すればいいとは一概には言えるものではありません。どちらにしても設計積算をして適したものを設置していくことになると思います。なお見た目の問題になりますが、前までは天井に機器を隠して設置していたところを、天井の下につけて配管も見えるような形で設置するなど、今後はコストをなるべくかけないことも検討していかなければならないと感じています。

秋田委員

そういうことではなく、家庭用のエアコンをつけた学校を見たことがあるのか、話を聞いたことがあるのかという話である。

森田教育施設
課長

家庭用のエアコンをつけたという話は、私は聞いたことがありません。

内藤教育長

私も喫茶店で使われるような機器を使うことができないかという質問を職員にしたことがあります。しかし学校でそういったものをつけているということは、私が確認した中ではありません。分校や分教場、また湿度が低い、風通しがいいなど地域によってはあり得るのかもしれませんが、そういったことも含めて調査をしています。また業務用の機器を設置するにしても、小さいものをたくさんつけるのと、基礎の大きなものをつけるのと、どちらが単価や効率がいいかということを検討する必要があります。また出入りが激しい学校のようなところでは空気がなかなか冷えませんが、それを一定に維持するとなるとそれなりの出力も求められます。

ご指摘の内容については可能性があるかどうか、もう一度、調べる努力をさせていただきます。

矢作委員

2学期が始まってこれから体育祭や運動会があるかと思うが、加須市では、最低気温が28度、最高気温が35度を超えるような時には休校にするといった報道があった。先ほど、いろいろと対応策をお話いただいたが、今後に向けて、例えばWBGTの値の測定で対応するなど、何か検討されていることはあるか。

戸村学校教育
部次長

運動会や体育祭については、9月の中旬から下旬に予定している学校も多くございます。練習時に猛暑が見込まれる時には当然ながら、先ほど保健給食担当参事が申し上げたように、指数が31を超えた場合には原則運

動禁止となっていますので、練習を中止するなどの措置を講じることとなっております。

内藤教育長

いろいろなことを努力して速やかに実施しなければいけません。国の通知には、空調施設の設置状況等も鑑みながら、この異常な猛暑が続くのであれば、夏休みを長くとってその分春休みや冬休みを短くしたり、また授業時数の確保が必要であれば土曜日に臨時で授業を行ったり、暑さがひどい時には、台風が来る週と同様に学校を休校にするなどといった対応を柔軟に行ってほしいという内容が盛り込まれています。今年の夏休みは終わりましたが、例えば夏休みを延ばすにしても、その方法はいろいろありますので、研究をして、対応できるように準備していきたいと思えます。

【質疑終結】

島田委員長

これまでの議会の取り組みや本日の審査の内容等を踏まえ、教育環境の整備としてエアコン設置を速やかに進めることについての提言をまとめたいと思うがよろしいか。

(委員了承)

内容について何か意見はあるか。

浅野委員

エアコンの設置は生徒だけでなく教員の職場環境の観点からも必要であり、また地域の防災拠点でもある学校の暑さ対策という側面もある。

そういったことも提言に盛り込みたい。

島田委員長

ただいまの意見も踏まえ、正副委員長案をまとめることでよろしいか。

(委員了承)

休 憩 (午後3時53分)

(休憩中に協議会を開催し、提言の内容について調整)

再 開 (午後5時2分)

島田委員長

提言をまとめたので、ご確認いただきたい。

全小中学校への速やかなエアコン設置を求める提言

本市議会においては、平成22年第3回定例会において「小・中学校の猛暑対策を早急に実施することを求める決議」を可決し、小中学校の普通教室へのエアコン設置を求めてきたところである。また、定例会一般質問においても多くの議員が、その必要性について質問をしてきた。

本年1月の「所沢市新春のつどい」の中で、藤本市長は全小中学校へエアコンを設置するという方針転換を表明され、その調査費が平成30年度一般会計予算に計上された。年度内には、その調査結果が提出される見込みである。

しかし、今年7月初旬以降の猛暑は、気象庁が「命に危険があるような暑さで災害と認識している」と述べるなど、まさに異常な暑さである。これにより、愛知県豊田市の小学1年の児童が熱中症で倒れ、命を落とすと

いう痛ましい事故も発生している。本市においても今年度に入り、市内中学校で7名が救急搬送される事態となっている。高温になる教室は、児童生徒にとどまらず、教員の職場環境という面からも改善が求められる。

また、学校施設は、昨今頻発する地震や豪雨など災害時の避難所に指定されているが、エアコン設備がないため、避難所での暑さ対策が喫緊の課題となっている。

このような状況を踏まえ、子どもたちの教育環境の整備と災害時の避難所としての観点からも、小中学校への速やかなエアコン設置に関し、次のとおり提言する。

記

エアコン設置に当たっては、状況を鑑みながら速やかに予算措置を講じ、一日も早い設置を検討すること。

以上

このとおり、教育委員会に提言し、併せて平成30年第3回定例会における常任委員長報告の中で報告することによろしいか。

(委員了承)

また、特定事件「学校教育について」のうち「市内小中学校の暑さ対策

について」は、審査を終結することによろしいか。

(委員了承)

散 会 (午後5時4分)